

表1 徳山ダム開発水量の見直し

		当初計画 (m <sup>3</sup> /sec)	現行計画 (m <sup>3</sup> /sec)	見直し結果 (m <sup>3</sup> /sec)	削減水量 (m <sup>3</sup> /sec)	削減率 (%)
岐阜県	水道	1.5	1.5	1.2	0.3	20.0
	工業用水	3.5	3.5	1.4	2.1	60.0
	計	5.0	5.0	2.6	2.4	48.0
愛知県	水道	4.0	4.0	2.3	1.7	42.5
	工業用水	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	計	4.0	4.0	2.3	1.7	42.5
名古屋市	水道	5.0	2.0	1.0	1.0(4.0)	50.0(80.0)
	工業用水	1.0	1.0	0.7	0.3	30.0
	計	6.0	3.0	1.7	1.3	43.3(78.3)
全体	水道	10.5	7.5	4.5	3.0(6.0)	40.0(57.1)
	工業用水	4.5	4.5	2.1	2.4	53.3
	計	15.0	12.0	6.6	5.4(8.4)	45.0(56.0)

資料) 木曾三川治水百年のあゆみ編集委員会・(社) 中部建設協会 (1995) 『木曾三川治水百年のあゆみ』建設省中部地方建設局、建設省中部地方建設局・水資源開発公団中部支社 (1995) 『徳山ダムについて』、愛知県企画振興部土地水資源課 (2004) 「徳山ダムの利水計画の見直しについて」、岐阜県水資源課 (2004) 「徳山ダムの利水計画の見直しについて」、名古屋市上下水道局 (2004) 『経済水道委員会資料』

注) カッコ内は当初計画からの返上分並びに削減率を表す。

表2 木曾川水系の水需要想定と実績

		2000年度	2000年度	2015年度	2000年度	2015年度	
		需要想定	使用実績	需要想定	需要発生率	需要増加率	増加水量
		A	B	C	B/A(%)	C/B(%)	(m <sup>3</sup> /sec)
愛知県	水道用水	39.7	28.6	32.4	72	13	3.8
	工業用水	16.2	8.4	10.2	52	21	1.7
	計	55.9	37.0	42.5	66	15	5.5
岐阜県	水道用水	13.8	10.0	11.8	72	18	1.8
	工業用水	6.7	0.5	1.8	7	290	1.4
	計	20.5	10.5	13.6	51	30	3.2
三重県	水道用水	7.1	5.5	5.6	77	3	0.2
	工業用水	10.4	6.6	6.8	63	4	0.3
	計	17.5	12.0	12.5	69	4	0.4
長野県	水道用水	0.4	0.4	0.3	110	-23	-0.1
	工業用水	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0
	計	0.4	0.4	0.3	110	-23	-0.1
フルプラ ン地域	水道用水	61.1	44.5	50.2	73	13	5.7
	工業用水	33.3	15.4	18.8	46	22	3.4
	合計	94.3	59.9	69.0	63	15	9.1

資料) 国土審議会水資源開発分科会木曾川部会 (2004) 『第2回木曾川部会資料』

表3 ダム開発水量に対する安定供給可能水量の割合

(単位 : m<sup>3</sup>/sec、%)

	現行水利権			2/20 渇水年の供給可能量				1994 年の供給可能量			
	水道 用水	工業 用水	計	水道 用水	工業用 水	計	供給 割合	水道 用水	工業 用水	計	供給 割合
牧尾ダム	3.89	6.41	10.31	2.73	4.49	7.21	70	2.06	3.40	5.46	53
岩屋ダム	21.93	17.63	39.56	9.65	7.76	17.41	44	4.39	3.53	7.91	20
阿木川ダム	1.90	2.10	4.00	1.08	1.20	2.28	57	0.78	0.86	1.64	41
味噌川ダム	3.57	0.73	4.30	3.00	0.61	3.61	84	1.46	0.30	1.76	41
長良川河口堰	13.16	9.34	22.50	9.91	7.04	16.95	75	4.03	2.86	6.89	31
徳山ダム	4.50	2.10	6.60	2.70	1.26	3.96	60	1.67	0.78	2.44	37
				(3.20)	(1.49)	(4.69)	(71)				
三重用水	0.67	0.19	0.86	0.50	0.15	0.65	75	0.27	0.08	0.34	39
合計	49.62	38.50	88.13	29.57	22.51	52.07	59	14.66	11.81	26.44	30
				(30.07)	(22.74)	(52.80)	(60)				

資料) 国土審議会水資源開発分科会木曾川部会 (2004) 『第2回木曾川部会資料』

原注) 合計の値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

揖斐川に建設される徳山ダムの 2/20 供給可能量は、S59 年度の値である。なお、( ) 書きにて S62 年度の値を示す。

農業用水は、期別変化があり年間を通じて一定の取水となっていないため、年間を通してほぼ一定の取水が行われている都市用水のみを表示している。

三重用水は、水資源機構が計算した値である。

各県における需給想定に際しては、地域の実情を考慮し、岐阜県は上記の S59 年度値を、愛知県は他の施設と同様の S62 年度値 ( ( ) 書き ) を基本として、徳山ダムの 2/20 供給可能水量を算出している。

表4 木曾川で発生した渇水（1973～2002年）

年	牧尾ダム					岩屋ダム						
	取水制限期間 (月日)	日 数	最大取水 制限率(%)			最低貯 水率 (%)	取水制限期間 (月日)	日 数	最大取水 制限率(%)			最低貯水率 (%)
			上 水	工 水	農 水				上 水	工 水	農 水	
1973	3.26～4.16、 6.16～9.10	109	20	30	30	18.6						
1977	7.29～8.18、 11.05～11.18	45	10	20	20	18.4						
1978	6.06～6.22、 9.01～9.18	35	10	20	15	20.0						
1982	7.06～7.31	26	20	40	40	20.1						
1984	2.21～4.02、 6.01～6.27、 8.13～85.3.13	282	15	30	30	0.0						
1986	9.03～87.1.15	145	20	40	40	0.0	10.23～87.1.20		20	30	30	13.0
1987	9.12～88.3.17	188	17	37	37	2.4						
1988							2.26～3.16	20	5	5	5	24.2
1990	8.18～9.17	31	10	20	20	—						
1992	9.21～11.11	51	10	20	20	28.0	9.25～10.17	22	5	5	5	28.0
1993	6.04～6.29	25	15	20	20	21.2	6.11～7.01	20	10	15	15	19.4
1994	6.01～11.14	166	35	65	65	0.0	6.09～11.14	158	35	65	65	0.0
1995	8.22～96.3.18	210	22	44	44	—	8.25～96.3.18	207	25	50	50	—
1996	5.31～6.25 8.14～8.17	26 3	20 10	20 10	20 10	— —	5.31～6.26 8.14～8.29	27 16	10 5	15 10	15 10	— —
1997	6.24～6.30	7	5	10	10	—						
1999	6.17～6.25	8	5	10	10	—						
2000	5.30～6.29 7.27～9.12	31 47	10 25	20 50	20 65	— —	9.07～9.12	6	5	10	10	—
2001	5.02～6.25 7.23～10.18	55 88	20 17	40 35	40 35	— —	5.17～6.25	40	20	40	40	—
2002	6.25～7.15	21	5	10	10	—	9.11～10.04	24	5	10	10	—

8.16~10.08	55	20	40	40	—				
------------	----	----	----	----	---	--	--	--	--

資料) 愛知県『災害の記録 平成 12 年』、国土庁 (国土交通省) 『日本の水資源』各年度版

注) 最低貯水率の「—」はデータなし。